



🌸 子どもも大人も笑顔あふれる学校に 🌸

校長 成田 弥生

桜花満開の中、ピカピカの新1年生55名を迎え、猿楽小学校は全校児童314名で船出をしました。

今年度も新たに転入職員10名を迎え、共に心機一転、力を合わせて頑張っ
てまいります。

始業式でも、「何のために学ぶのか。」子供たちに問いかけました。

「何のために学ぶのか。それは、幸せになるために学ぶのである。そして周
りの人を幸せにするために学ぶ。」と話をしました。猿楽小学校が目指すのは「自
他共の幸福」です。

今年度も保護者・地域の皆様と共に「子どもも大人も 笑顔あふれる学校」を
つくってまいりたいと思います。御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

今年度はいよいよシブヤ未来科で探究学習が新たに始まります。「子ども発」
をキーワードに自ら考え、自分ごととして取り組めるよう児童主体の学びを展
開してまいります。また、人との関わりの基本として、相手意識を育て、対話を
通して温かいコミュニケーションができることを大切にしていきたいと思いま
す。

その第一歩として、笑顔で挨拶です。昨年度より地域の方による「おはようボ
ランティア（おはボラ）」にも入っていただき、子供たちの挨拶が良くなってき
たとお話いただきました。

始業式でも「あいさつ名人、先に、笑顔で何度でも」と人と仲良くなる第一歩
である挨拶について話をしました。私たち大人からすすんで「大人から、先に、
笑顔で何度でも」と元気な挨拶が響く学校にしていきたいと思えます。

「桜梅桃李」という言葉があります。桜には桜の良さがあるように、梅には
梅にしかない良さがある。それぞれが自分らしく、子供も大人も自分にしかない
良さを輝かせることができるよう学校が居心地の良い場であるように尽力して
まいります。

令和6年度重点項目

○自分らしく表現できる子（表現力）の育成

- ・温かいコミュニケーション（相手意識の育成）
- ・主体的な対話のある授業（よく聴く・よく話す）
- ・挨拶名人（温かい声かけを大人から）

○「子ども発」で学びを楽しめる子の育成（探究学習）

- ・自ら「問い」をもつ⇒問題解決学習を授業で展開
- ・猿楽プロジェクト・シブヤ未来科で学びを深められる子の育成